

未来を拓く山北中学2年生 山北支所で職場体験

4日間の職場体験で、広報業務と協議会事務局業務を2日間にわたり体験。広報業務では協議会が共催する「さんぽく軽トラ定期市」を周知する取材と、協議会の事務局業務では、山北の元気づくりに向け「自分たちにできることを提案」をしました。

「さんぽく軽トラ定期市」開催！

～初回 第17回福祉まつり 同日開催～

山北商工会・さんぽくごっつお物語協議会・山北地区まちづくり協議会の共催で、地元のグルメ、旬の味、匠の技が大集合した「さんぽく軽トラ定期市」を6月から10月まで毎月開催します。

大勢の皆さんの出展・ご参加をお待ちしています。



初回開催日：6月8日（日）午前9時～11時30分 ※荒天時は中止する場合があります。
会場：ゆり花会館裏国道7号沿い駐車場 問合せ：山北商工会

昨年は3回軽トラ市を開催し、今年からは山北の賑わいの場・交流の場として定着するように定期的な開催することにしました。

これからも軽トラ市を通じて山北が元気になるためのきっかけづくりになるように取り組んでいきます。



緊張しながら、板垣事務局長にインタビュー

自分たちにできることを提案

テーマ：山北が元気になるためにできること

事業名：LOOK AT SANPOKU POWER

～（見せましょう 山北の底力）小中学生が歌う山北の歌～

内容：山北が元気になる歌をつくって合唱する！

開催日：平成27年の「さんぽく祭」で披露

主体：山北地区小中学校の3校

方法：山北が明るく元気になる歌詞をそれぞれの学校がづくり

伴奏と作曲を山北中学校吹奏楽部が担当する。

協議会ホームページなどにアップしよう！



大滝 智春くん

そして将来、この歌を受け継いでもらえるような元気な子どもがふれる山北でいてほしいね。



小林 隼人くん

山北の子どもが元気で明るいことをPRしたいね。



富樫 敦史くん

合唱を通じて、山北の良さもPRしたいね。

編集後記

今年の春から、健康管理のために毎日時間を見つけて歩いています。ある日、ふと雑木林の中を見るとシラネアオイが数輪咲いていました。少し得した気分になり、持っていた携帯のカメラで“パッシャ”。さて、また歩こうとしたら今度はイカリソウが群生しています。またまた、“パッシャ”。▼見慣れた日常でも、ものの見方やとらえ方を変えると改めて「見えてくる」ものがあります。▼私は、歩くことで山野草を発見。何かを少し変えるだけで、気づけたそんな春の訪れでした。

さんぽくまちづくり通信

第 9 号

発行 山北地区まちづくり協議会

発行日 平成26年（2014年）6月1日

事務局 村上市 山北支所 地域振興課 自治振興室

（住所）〒959-3993 新潟県村上市府屋 232

(TEL) 0254-77-3111 (FAX) 0254-77-2217 (E-mail) s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

(協議会専用 E-mail) genki.sanpoku@citrus.ocn.ne.jp

大きく構えて着実な実行

昨年度の集落支援事業等の実績から



基石：避難路整備

大毎：鯉山清水水汲みツアー



越沢：城山遊歩道整備



府屋学校町：納涼祭

元気づくりには、積み重ねが大切です。皆さんの着実な“歩み”が、地域の元気につながります。

山北地区まちづくり協議会の活動も3年目となり、多くの皆さんからのご協力により、徐々に会の趣旨やその活動範囲が広まっています。

基本目標を「住んでいてよかったと思える地域づくり」と定め、各事業を進め、そこかしこ

で「地域の元気づくり」や「地域の活性化」などの単語を並べ、取り組み紹介を行ってまいりました。しかしまだまだ「元気」って何？「活性化」って何をすればいいの？と疑問に思い、悩んでいる方も多いことと思います。

根底には「住んでいてよかった」と皆さんが思える山北にしたいという願いがあります。その実現のために、様々なお知らせや支援策を打ち出し、多くの方の参加のもと事業を展開しています。

しかし、一番大切なことは、協議会の取り組みではなく、最も身近な集落や団体、個人の皆さんの具体的な取り組みだと思っています。

個々の皆さんが、いきいきと楽しく活動することが次につながると考えています。大きく構え、小さな積み重ねを経て具体化するのが地域づくりと考えています。



長年活動を続ける寒川集落花いっぱい運動

平成26年度通常総会終了

4月10日（木）に通常総会が終了し、平成25年度事業報告と収支決算、平成26年度事業計画と収支予算について、議決していただきました。また、任期満了に伴い、会長をはじめとする役員の変更について議題とし、引き続き、現行の役員体制で就任することに承認をいただいたところです。

今回、2期目となる佐藤会長からの今後の抱負と、各部長から今後の方針をご紹介します。

これからも住みたいと思える地域の実現に 山北地区まちづくり協議会長 佐藤 庄平



このたびの総会において、再度協議会の会長の大役を仰せつかりました佐藤です。活動も3年目となりましたが、微力ながら、住んでよかったと思える山北の実現に向け、皆さんとともに汗を流していきたいと思えます。

山北のまちづくりの基本は、何と言っても「集落」にあると考えています。地域の皆さんの生活の基礎となる集落の活動にこそ「山北の活性化」のカギがあると確信をしています。

皆さん一人ひとりの元気から、各集落の活性化、山北の活性化に結び付けられるよう、今後とも取り組みを進めさせていただきたいと思えます。



安全・安心部会長 加藤 和彦さん

安全・安心な地域の実現に向け

私たちの部会では、地域ボランティア活動の実態の把握やその活動の輪を広げる取り組みを進めます。また、安心して暮らせる地域の実現に向けた活動にも取り組みますので、皆さんの参画をお待ちしています。

環境・文化部会長 佐藤 優博 さん

自然と伝統を守り環境にやさしい地域に向け

環境・文化部会では、地域の環境整備活動を推進するため花いっぱい運動の実施や保育園、小学校、各集落と連携した啓発看板の作成を進めますので、皆さんのご協力をお願いいたします。



産業・交流部会長 富樫 保晴 さん



産業振興と交流による活気ある地域に向け

産業・交流部会では、地域産物の流通促進を目指した「軽トラ定期市」の開催を通して、地域産物の新たな可能性につなげます。また、地域外への産物のPRを促進するため、昨年度に引き続き各団体の支援を行います。



昨年の取り組みから集落公民館の今後の取り組みを議論した“公民館長研修会” H26・3・7開催

コミュニティ部会長 小野 清 さん

集落活動や地域づくり組織への支援を充実

コミュニティ部会では、今年度から各種活動支援に対する助成金の拡充を図り、積極的に活用をしていただくように進めています。また、皆さんから具体的な取り組みに対する声を活かしたいと考えていますので、皆さんのご協力をお願いいたします。



昨年の取り組みから地域づくり楽習会で地域の産物を活かした食の提供“さんぽく南小3年生” H26・3・16開催

【山北の暮らし⑥ 灰の文化】

電気やガスもない時代、人は、山から木を切り出し、暖をとり、煮炊きしてきました。そんな暮らしから生み出される「灰」に、人はいつ頃からか不思議な力を見つけたのです。

ワラビや栃の実などはそのままでは食べることは出来ませんが、灰の力を利用しあく抜きすることで、おいしく食べることが出来るようになります。

また、ガラスの原料や、焼き物の釉薬（うわぐすり）のほか、染物の触媒や肥料としても利用されました。このように、灰は、衣食住のあらゆる分野で巧みに利用され、人々の暮らしを豊かにしてきたのです。

昔の家には、必ずいろりがありました。テレビがなかった時代、いろりの周りに家族が集まり、食事をしたり、夜なべをしたり、いろりの灰に栗や餅を入れて焼いて、子どもたちはそれをほおばりながら年寄りから昔話を聞いたりしたものでした。

木を燃やし暖をとり、煮炊きし、そしてその灰を捨てることなく利用する。現代、家電製品などが揃う当たり前の暮らしに慣れた今こそ、その大切さを再認識しなければならない時期だと思います。

（山北商工会ホームページより抜粋）



焼き畑で栽培する特産の「赤かぶ」も灰の文化の産物です

人財育成と住民参加による元気な地域に向け

企画部会では、地域間や人と人とのつながりを生むためのミニ研修会や交流会などの開催を計画しています。また、地域の皆さんが気軽にまちづくりにかかわれる事業の開催も計画しています。

地域の元気づくりに向け、皆さんの参加をお待ちしています。



企画部会長 岩崎 貴裕 さん

ふるさとの夏祭りを募集

ふるさと山北の夏を盛り上げたい！多くの皆さんと交流をしたい！

山北をもっと元気に！楽しくしたい！！

そんな思いを持っている皆さん。8月17日（日）に開催を予定しています「ふるさと山北の夏祭り」の「実行委員」になりませんか？希望される方は、6月13日（金）まで以下の連絡先までお申込みください。

さあー！みんなで“あつい”山北の夏を盛り上げよう！！

- 開催日時 8月17日（日）午後から（予定）
- 会場 山北総合体育館前広場
- 内容 ・飲食ブースの開設
・お楽しみ屋台の開設
・アトラクション等

■実行委員の役割

まつりの企画立案及び当日の運営に従事していただきます。



問い合わせ先

山北支所地域振興課自治振興室

電話 77-3111 FAX 77-2217

E-mail s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp